

どんぐり・木の実 見分け ずかん

拾った"あと"に見分ける ―― まず「ぼうし（殻斗）」の形を見て、葉とセットで確かめよう。

まず ぼうし（^{かくと}殻斗）を見る ^みどんぐりは"ぼうし"の形でなかまが分かる



うろこ型
瓦（かわら）がさね → コナラ・マテバシイ・ミズナラ



横しま型
輪のもよう → アラカシ・シラカシ（常緑のカシ）



モジャモジャ型
そりかえる毛 → クヌギ・カシワ・アベマキ



すっぽり包む型
割れて中身が出る → スダジイ・ツブラジイ

ほかに いが→クリ / 三角の実→ブナ / かさ→松ぼっくり。 **そのまま食べちゃダメ**：トチ（生）・エゴ・センダン・ムクロジ。 **どんぐりの小さな穴**はゾウムシが出た跡。

木のなかまを見分ける LEAF & TREE

【葉がうすく秋に落ちる → コナラのなかま（**落葉**）】

【葉が厚くツヤ・冬も緑 → カシのなかま（**常緑**）】

【ぼうしが横しま → **常緑のカシ**】

【どんぐりが大きく丸い／砲弾型 → クヌギ／マテバシイ】

【実がぼうしに全部つつまれる → シイ（**食べられる**）】

【実に小さな穴 → ゾウムシが出た跡】

コナラ属・^{ぞく}^{らくようじゅ}落葉樹 葉はうすく秋に落ちる・里山に多い

6種



クヌギ
実:大きくほぼ丸い／ぼうしモジャモジャ。葉:栗に似た針状の鋸歯。カブトムシが来る
渋 あく抜き **落葉** 似:アベマキ



コナラ
実:細長い／ぼうしうろこ。葉:倒卵形で鋭い鋸歯。里山で最普通
渋 あく抜き **落葉** 似:マテバシイ



アベマキ
クヌギに似るが樹皮がコルク質・葉裏が白っぽい
渋 あく抜き **落葉** 似:クヌギ



カシワ
実:大きい／ぼうしモジャ。葉:特大で波状に切れ込む（柏餅の葉）
渋 あく抜き **落葉** 似:クヌギ



ミズナラ
実:ぼうしうろこ。葉:大きく無柄で鋸歯が大きい。英彦山など山地
渋 あく抜き **山地** 似:コナラ



ナラガシワ
コナラより葉が大きく柄がある。ぼうしはうろこ
渋 あく抜き **落葉** 似:コナラ

カシのなかま・^{じょうりよくじゅ}常緑樹 照葉樹・葉が厚くツヤ／ぼうしは横しま

5種



アラカシ
実:卵形／ぼうし横しま。葉:上半分だけ鋸歯・革質。公園で最普通
食× **常緑** 似:シラカシ



シラカシ
実:細め。葉:細長く全体に浅い鋸歯・裏が緑白
食× **常緑** 似:アラカシ



アカガシ
実:大きい（翌年に熟す）。葉:全縁（鋸歯なし）で柄が長い
食× **常緑**



ウラジロガシ
葉裏が白い（ロウ質）・鋸歯が波状。結石茶で有名
食× **常緑** 似:シラカシ



ツクバネガシ
葉の先のほうだけ鋸歯。ぼうし横しま
食× **常緑** 似:アカガシ

シイ・マテバシイ（^た食べやすい） 実がぼうしに包まれる・あくが少ない

4種



スダジイ
実がぼうしに全部包まれ熟すと裂ける。炒ると甘い。神社の森
食◎ **常緑** 似:ツブラジイ



ツブラジイ
スダジイより丸く小さい。生でも食べられる
食◎ **常緑** 似:スダジイ



マテバシイ
実:大きい砲弾型／ぼうしうろこ。葉:大きく厚く全縁。あく抜き不要
食◎ **常緑**



シリブカガシ
実のお尻がへこむ。ぼうしうろこ。常緑
食○ **常緑** 似:マテバシイ

どんぐり以外の木の実 ^{いがい}公園・里山・川ぞいで拾える実

8種



クリ
トゲの"いが"に包まれる。焼いて食べる定番
食◎ **落葉**



トチノキ
大きい茶色のツヤ実（栃餅）。渋抜きしないと食べられない
渋 あく抜き **落葉**



ブナ
三角の実・ぼうしが4つに裂ける。炒って食べられる。山地
食◎ **山地**



マツ（松ぼっくり）
アカマツ・クロマツの実。かさが開くとタネが飛ぶ
食× **常緑**



ムクロジ
羽根つきの黒い玉。皮を水でこすると泡（せっけん）
毒 **落葉**



エゴノキ
灰緑の実。皮にえぐみ（サポニン）。食べない
毒 **落葉**



オニグルミ
川ぞいに多い。硬い殻の中は食べられる
食◎ **落葉**



センダン
黄色い実がたくさん。有毒なので食べない
毒 **落葉**

◆**拾える時期** 9～11月（マテバシイ・アラカシは大きめ）。◆**食べられる** スダジイ・ツブラジイ（炒る）・マテバシイ（あく抜き不要）・ブナ・クリ・オニグルミ。渋いコナラ・クヌギはタンニンでそのままだは苦い。◆**保存** 水に入れて浮くのは虫入り→煮沸か冷凍で退治。◆**あそび** こま・やじろべえ・工作。